平成 19 年 12 月 5 日

各　位

不動産投資信託証券発行者名
東京都港区六本木六丁目10番1号
六本木ヒルズ森タワー37階
FCレジデンシャル投資法人
代表者名　執行役員　金子　幸司
（コード番号：8975）
資産運用会社名
ファンドクリエーション不動産投信株式会社
代表者名　代表取締役　金子　幸司
問合せ先　取締役投資管理部長　村上　隆二
TEL. 03-5413-5348

# 大量保有報告書に関するお知らせ

FC レジデンシャル投資法人（以下「本投資法人」といいます。）に対する大量保有報告書（大量保有報告書提出後に提出される変更報告書を含みます。）が、本日現在までに以下のとおり提出されましたので、お知らせいたします。

記

| 提出日 | 提出者 | 保有投資口 | 保有割合 |
|---|---|---|---|
| 平成 19 年 1 月 10 日 | Prospect Asset Management, Inc. | 10,621 口 | 32.48% |
| 平成 19 年 1 月 11 日 | JPE Capital Management Limited | 3,143 口 | 9.61% |
| 平成 19 年 1 月 18 日 | 日興アセットマネジメント株式会社 | 2,433 口 | 7.44% |
| 平成 19 年 4 月 20 日 | Prospect Asset Management, Inc. | 10,960 口 | 33.52% |
| 平成 19 年 5 月 9 日 | JPE Capital Management Limited | 2,643 口 ① | 8.08% |
| 平成 19 年 6 月 7 日 | 日興アセットマネジメント株式会社 | 2,107 口 | 6.44% |
| 平成 19 年 6 月 14 日 | Prospect Asset Management, Inc. | 11,357 口 | 34.73% |
| 平成 19 年 6 月 28 日 | Prospect Asset Management, Inc. | 11,749 口 | 35.93% |
| 平成 19 年 7 月 5 日 | Prospect Asset Management, Inc. | 12,219 口 | 37.37% |
| 平成 19 年 7 月 18 日 | Prospect Asset Management, Inc. | 12,649 口 | 38.68% |
| 平成 19 年 7 月 31 日 | Prospect Asset Management, Inc. | 12,976 口 | 39.68% |
| 平成 19 年 8 月 17 日 | Prospect Asset Management, Inc. | 13,401 口 | 40.98% |
| 平成 19 年 9 月 28 日 | Prospect Asset Management, Inc. | 13,737 口 | 42.01% |
| 平成 19 年 10 月 5 日 | 日興アセットマネジメント株式会社 | 1,979 口 ② | 6.05% |
| 平成 19 年 12 月 5 日 | Prospect Asset Management, Inc. | 14,063 口 ③ | 43.01% |
| 上記三者合計 | | 18,685 口<br>(①+②+③) | 57.14% |

(注 1)　本投資法人の発行済投資口の総数は 32,700 口です。

(注 2)　平成 19 年 10 月 5 日に提出のあった日興アセットマネジメント株式会社につきましては、共同保有者日興シティグループ証券株式会社の保有する投資口数(76 口)との合算数値を記載しております。

(注 3)　大量保有報告書は、金融商品取引法に基づき、発行済投資口の総数に対し 5%超の投資口を保有することとなった投資家に提出が義務付けられております。また、その保有割合について 1%以上の増減があった場合に変更報告書が提出されます。そのため、各提出者につき提出日以降に 1%未満の増減がある可能性があります。

本日現在までに提出された大量保有報告書によると、上記三者合計の投資口数は 18,685 口であり、発行済投資口の総数に対する割合が 57.14%と、平成 19 年 11 月 1 日付「第 4 期（平成 19 年 10 月期）末の投資主の状況および運用状況・分配金の予想の修正に関するお知らせ」においてお知らせした発行済投資口の総数に対する割合 56.14%から 1%増加しております。

本投資法人は、買い増しを継続している Prospect Asset Management, Inc.に対し、保有投資口の一部売却を依頼し、税法上の導管性要件の維持を依頼しておりますが、当該社がこれに応じるとの保証はありません。

今後、大量保有報告書の提出による保有投資口の状況につきまして大きな変動が生じた際には、改めてご報告申し上げます。

なお、税法上の導管性について及び本投資法人第 4 期（平成 19 年 10 月期）の状況につきましては、平成 19 年 11 月 1 日付「第 4 期（平成 19 年 10 月期）末の投資主の状況および運用状況・分配金の予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以　上

※　本資料の配布先：兜クラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会
※　本投資法人のホームページアドレス：http://www.fcric.co.jp